

のように「水」底に沈んで行った」のです。… それらの小舟は彼らもろとも一瞬にして川底に消えました。まずその惨めな男自身が、次には彼の警護兵と近衛兵が、聖なる託宣の予告どおり、水嵩の増した河に、「鉛のように沈んで行った」のです。

10) 東面レリーフ（ローマ入城式 *Adventus*）：39.1-2

コンスタンティヌスはこれらのことやそれに近いことを、万物の支配者でそのときの勝利の立役者である神に向かって、あの偉大なしもべモーセのように、行為そのものでうたわれました。彼は、勝利の歌をうたいながら、帝都に入城されたのです。 [すると] すぐに、全元老院議員や、そこにいた他の元老院身分や騎士身分は、あたかも獄舎から解放されたかのように、ローマの全市民とともに、目を輝かせ、歓声と狂気で彼を出迎えました。 男たちは、妻子やおびただしい数の奴隷と一緒にあって、抑えることなどできぬ大声を上げて「解放者！」とか、「救済者！」「恩恵者！」と叫びつづけました。

【コンスタンティヌスのアーチ門と巨像に関する叙述】 40-41.1

11) 北面東レリーフ（ローマ広場演説台での演説 *Adlocutio* に該当か?）：41.2

元老院や全市民をも含めて、都に住んでいる者はみな、苛酷な暴虐な圧政から「解放されて」息を吹き返したかのように、より純粋な陽光を享受し、みずみずしい新しい生の誕生に与っているように見えました。 太陽が没する大洋に国境が接している民族はすべて、…祭典を楽しみました。 そして彼らはみな、異口同音に、神の恵みから、共通の善であるコンスタンティヌスが夜明けをもたらされた人と人類に告げたのです。

【マクセンティウス圧政の犠牲者の解放令発布】 41.3

【キリスト教聖職者の厚遇】 42

12) 北面西レリーフ（313年正月の祝儀分配 *Liberalitas*）：43.1-2

1. コンスタンティヌスは、貧しい者にはあらゆる種類の生活必需品を配られました。またそれとは別に、ご自分のもとにやって来る外の者にたいしては、人道的で恩恵をほどこす者として振る舞いました。…
2. 不幸にも孤児になった者には…、寡婦となった女性がいれば…

13) 東面上部トンド・レリーフ（太陽神の強調）：43.3

太陽は地平線上に昇り、その光の輝きをすべてのものに惜しみなく与らせますが、コンスタンティヌスもそれを同じで、彼はあたかも天の光源体とともに昇っていくかのように、宮廷から、昇る太陽と共に輝き、彼の面前にやって来る者すべてをご自分の寛大な善意の光線¹⁾で明るく照らし出されたのです。

【小結】

このアーチ門において、誰が戦勝の功労者として顕彰されているかということ、どうやらローマ正規軍ではなく、ガリア・ゲルマン系のコルヌーティ、それにおそらくゲンマン系軽装騎兵、さらには北アフリカ系弓兵だった、という意外な事実に行き当たる。

また、神像として突出しているのは、勝利の女神 *Victoria* を別にすると、明らかに太陽神 *Helios-Sol* である。彼の軍事力の基盤がガリア・ゲルマニアにあったことを想起すれば、ケルト系の著名な太陽神 *Apollo-Grannus* を彼が統治開始以来自らの公式信仰に採用していた（せざるをえなかった）理由、それを当時のキリスト教指導者がイエス・キリストと重ね合わせようと、さまざま贅言を尽くして後付け的に付度していた、という図式の検討が今後当面の研究課題となる。

【史料】

01) Hrsg. von Eduard Schwartz u. Theodor Mommsen, Zweite, unveränderte Auflage von Friedhelm Winkelmann, *Kirchengeschichte*, in: *GCS, Eusebius Werke*, II/2, Akademie-Verlag, 1907/1999 (秦剛平訳, エウセビオス『教会史』2巻, 講談社学術文庫, 2010 (初訳, 3巻, 山本書店, 1986-88)) .

02) von Friedhelm Winkelmann, *Über des Kaisers Konstantin*, in: *GCS, Eusebius Werke*, I/1, Akademie-Verlag, 1975 (秦剛平訳, エウセビオス『コンスタンティヌスの生涯』西洋古典叢書, 京都大学学術出版会, 2004) .

03) Introduction, texte critique et traduction de J. Moreau, *Lactance. De La mort des Persécuteurs*, 2 toms., in: *Sources Chrétiennes* 39, Paris, 1954/2006.

04) Introduction, Translation, and Historical Commentary by C.E.V. Nixon, Barbara Saylor Rodgers with the Latin Text of R.A.B. Mynors, *In Praise of Later Roman Emperors. The Panegyrici Latini*, U. of California Press, 1994.